

第16回

静岡歴史教育研究会



実現可能な「歴史総合」を考える —近代化・大衆化・グローバル化の検討—

報告者:

岩井 淳(静岡大学人文社会科学部)

「近代化」から考える「歴史総合」

君島 和彦(東京学芸大学名誉教授)

「大衆化」から考える「歴史総合」

油井大三郎(東京大学・一橋大学名誉教授)

「グローバル化」から考える「歴史総合」

司会:戸部 健・貴田 潔(静岡大学人文社会科学部)

今回の研究会では、「実現可能な「歴史総合」を考える」という共通テーマを設け、岩井および君島先生・油井先生という三名が報告します。君島和彦先生と油井大三郎先生は、以前から「歴史総合」と深くかわり、高大連携歴史教育研究会でも貴重な発言を続けています。2022年から高校の必修科目として導入される「歴史総合」に関心ある皆さま、ぜひお越しください。

日時:2018年12月15日(土)14:00~18:00

会場:静岡大学人文社会科学部A棟6F大会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場:無 料

主 催:静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤を構築する教材・教授方法の探究と高大連携の継続」、静岡歴史教育研究会

問合せ先:岩井 淳(静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com